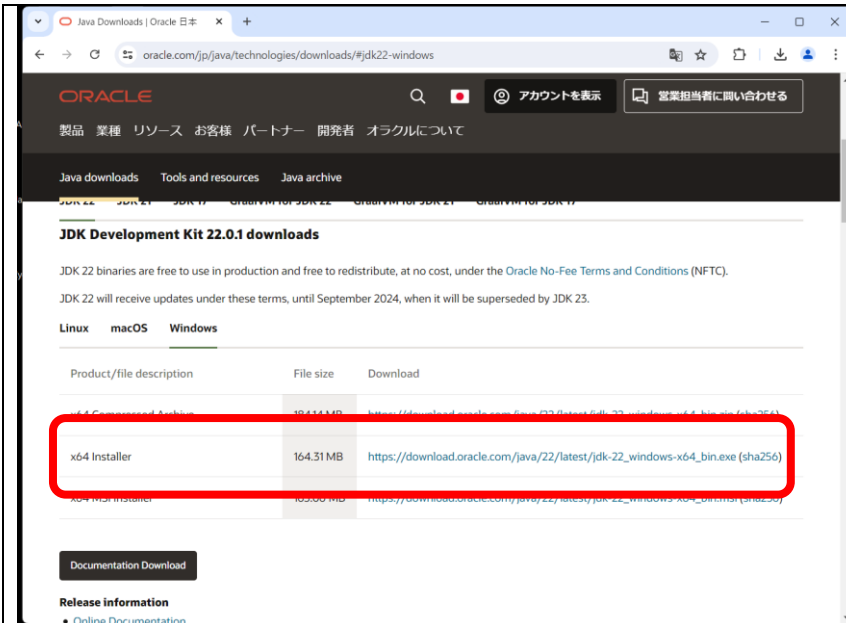


1. はじめに

Java JDK とは、Java Development Kit の略で Java のプログラム開発や実行するためのパッケージとなっています。Java 開発環境などと呼ばれたりします。WindowsPC の Java JDK インストールについて説明します。

2. インストール手順



<https://www.oracle.com/jp/java/technologies/downloads/#jdk22-windows>

にアクセスし、Windows 用の JDK をダウンロードします。

ダウンロードする際は、x64 Installer を選択するとよいでしょう。

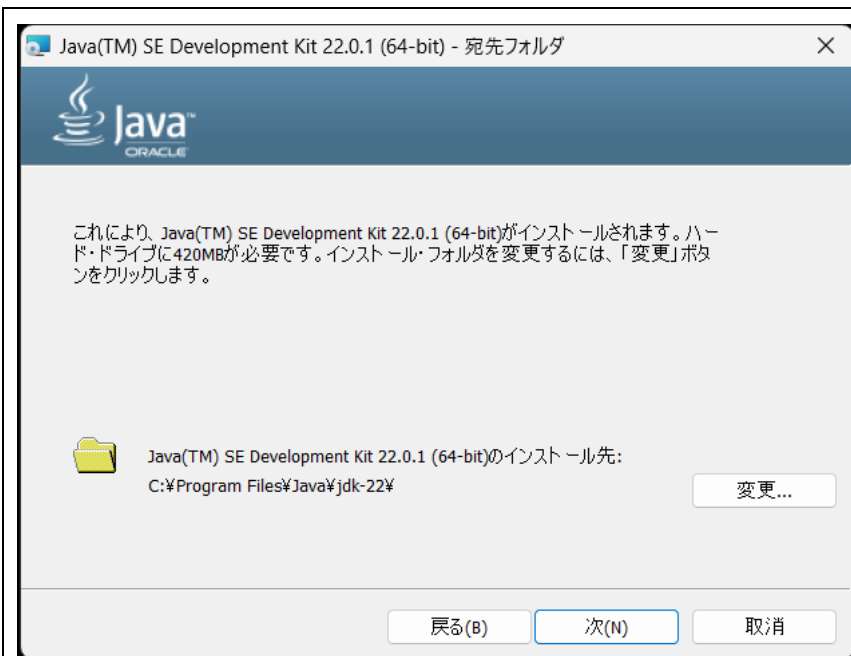


ダウンロード出来たら実行します。

ユーザーアカウント制御が表示されたら「はい」をクリックします。



Java JDK のインストール画面です。「次へ」をクリックします。

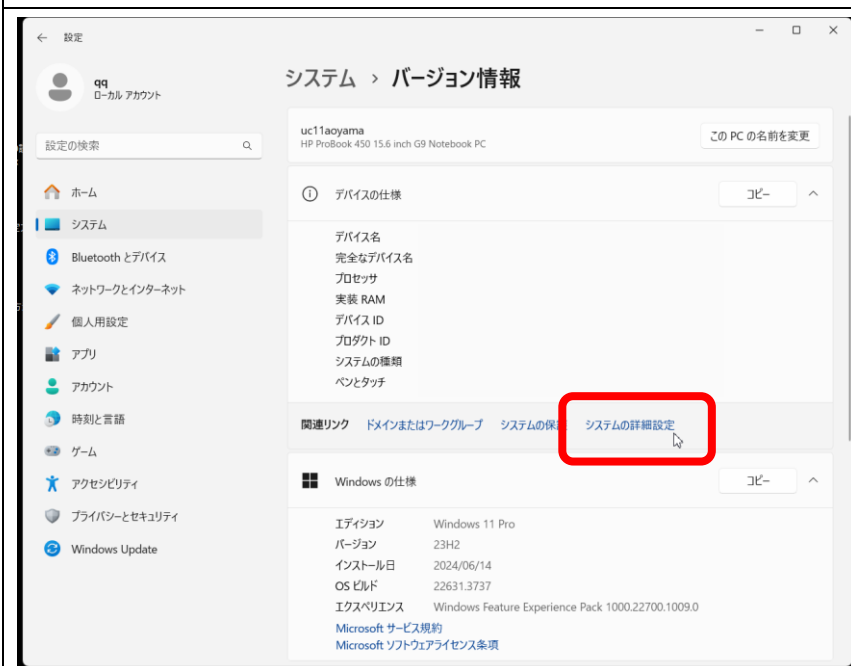


インストールフォルダを指定します。
デフォルトのままでよいので「次へ」をクリックします。



インストールが完了したら「閉じる」をクリックします。

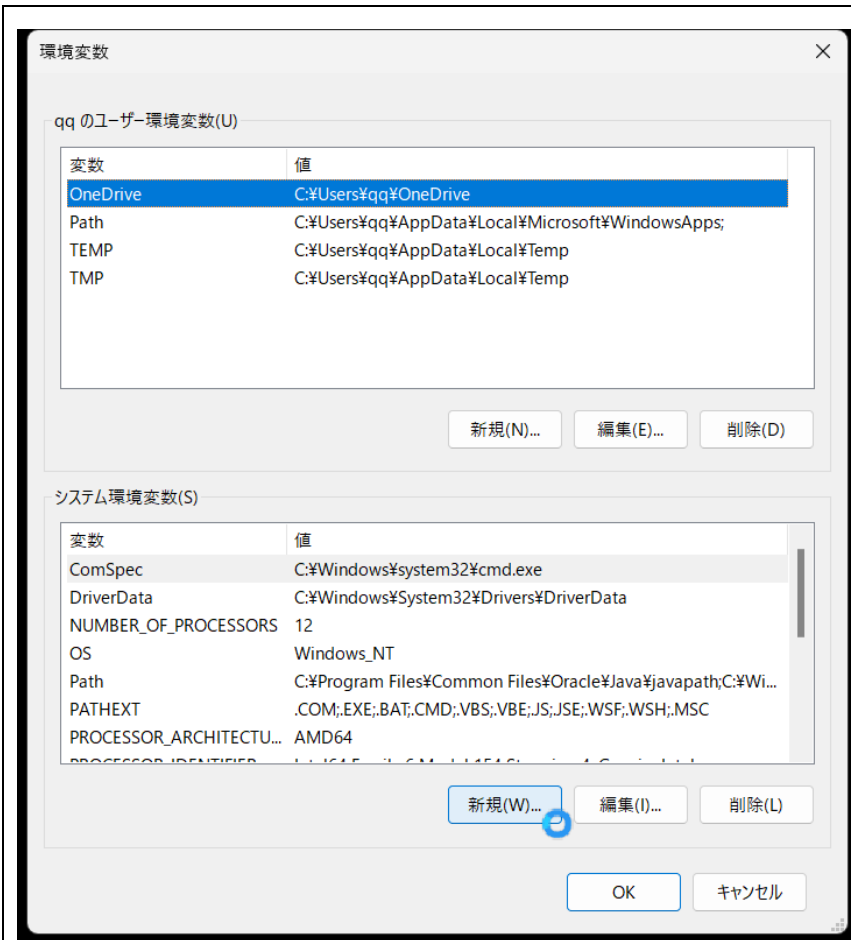
次に、Windows の環境変数の設定を行います。



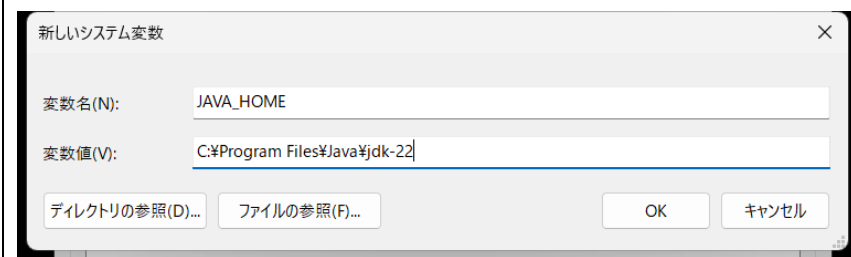
Windows ボタン>設定>システム>バージョン情報を開き、「システムの詳細設定」をクリックします。



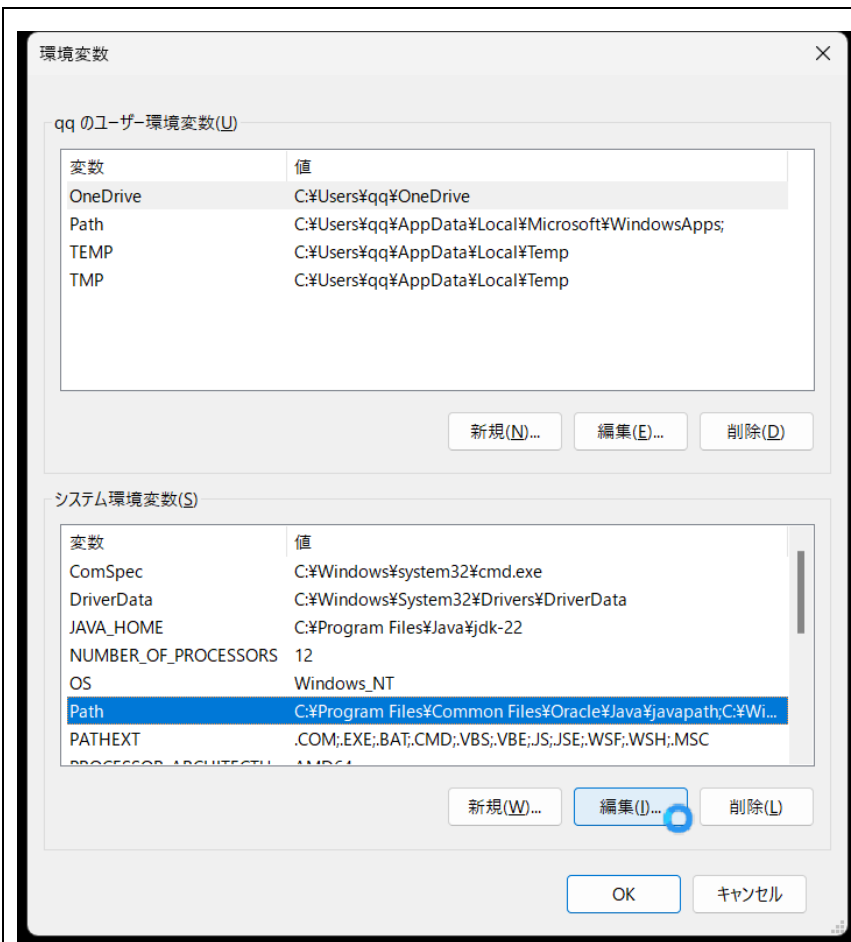
システムのプロパティ画面下部にある「環境変数」をクリックします。



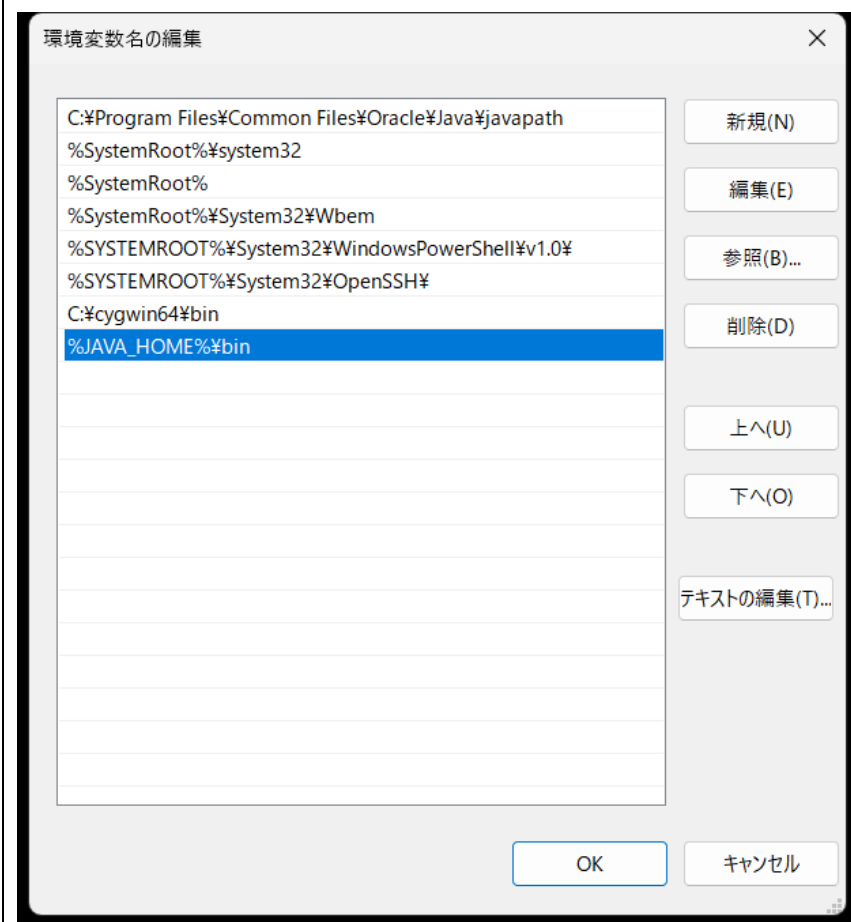
システム環境変数の「新規」ボタンをクリックします。



変数名 : JAVA_HOME
変数値 : C:\Program Files\Java\jdk-22
と入力 (コピペ) し「OK」をクリックします。



次に Path をクリックした状態で「編集」をクリックします。



「新規」ボタンをクリックし
%JAVA_HOME%\bin
と入力し「OK」をクリックします。

あとは一連の画面を OK など閉じて準備完了です。

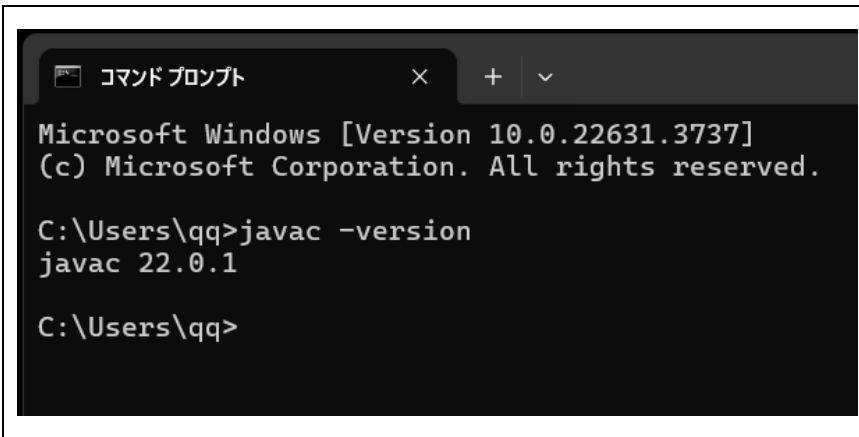
コマンドプロンプトを立ち上げ

>javac -version

で実行し

javac *.*.*

と表示されれば完成です。



```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.22631.3737]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\qq>javac -version
javac 22.0.1

C:\Users\qq>
```